

取組名	「間伐が林内の生物多様性に与える影響の評価」の共同研究について	
署等名	福岡森林管理署	
取組を行う背景・経緯	地球温暖化防止を主な目的として、間伐が推進されているが、間伐が生物多様性に与える影響については十分に評価されていない。生物多様性を保全していくためには、間伐が生物多様性に与える影響を評価し、温暖化防止と両立した森林管理を確立する必要がある。	
取組の概要	土壌動物を指標として調査し、間伐が林内の生物多様性に与える影響を定量的に評価する。大学の土壌動物の専門研究室と共同して、署管内のヒノキ林に3箇所の調査地を設定する。間伐前、間伐後の経過年数と土壌動物の多様性との相関関係から、林内の生物多様性に与える影響を判断する。 22年度は調査地の設定を完了し、調査を開始する。	
期待される効果・成果	調査研究した評価結果を基に、温暖化防止と生物多様性の保全が両立した森林管理の方法の検討項目のひとつとしての確立を期待する。 また生物多様性についての知識を署職員に周知していく必要がある。今後は、この取組の内容、成果を通して、小・中学生を対象にした森林環境教育に結びつけることも検討していく。	